



令和4年度 鹿屋市立輝北中学校 『学校だより』

シャイニング輝北

第8号 令和4年9月16日

校訓

友愛（豊かな広い心）

健康（健やかな体）

努力（鍛え、学び続ける態度）

花も輝け！希望に満ちて！

校長 副田 明彦

42日間の夏休みが終了し、2学期がスタートしました。今年の夏は、偏西風が蛇行した影響での異常気象となり、どこそで大雨が降ったり、はたまた猛暑となったり、で先の読みにくい休みとなりました。また、3年ぶりの移動制限なしの夏休みとなったことで、お盆の時期は、久しぶりの自動車の渋滞が目につきました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらず、感染拡大防止に引き続き力を入れている状況です。

保護者の皆様、御家庭に帰った42日間、子供たちは計画どおりに過ごせていたでしょうか。

さて、三年生は、今まさに「天王山」です。この夏休みを充実したものにできた人たちは、2学期を余裕をもってスタートできるでしょう。しかし、そうでなかった人たちは、今ここで、やる気スイッチを押して、「よし!」とはちまきを締め直して欲しいと思います。

「天王山」ということばをなにげにパッと使いましたが、「天王山」ってなんだかわかりますか。1582年の本能寺の変が関わっている山です。

スポーツや受験、ビジネスの商談を決めるまさに大事な場面の時に使うこの「天王山」は、京都にある270mの山です。我が輝北中は335.05mの高さにありますから、輝北中より低い山ということになります。((ちなみに日本で一番低い山は、自然にある山では弁天山(徳島県徳島市)で6.10m、人工に作られた山では日和山(宮城県仙台市)で3.0mです。))

織田信長が明智光秀に討ち取られたと聞いた羽柴秀吉は、中国で毛利氏と合戦中でしたが、毛利輝元と和睦を結んですぐさま、京へ戻ります。そして大阪と京都のちょうど中間に当たる山崎が天下分け目の合戦の舞台となりました。そこが天王山の麓です。

この戦いに勝った羽柴秀吉がのちに天下を取っていくことから重要な戦いや局面が変わる場面のことを「天王山」や「天王山の戦い」というようになったのです。

「天王山」といえば、11日に体育大会を開催しました。始業式から10日あまりでの開催でしたが、全員で体育大会を迎え、持てる力を存分に発揮できたでしょうか。短い期間でしたので、練習もポイントを押さえた練習しか出来ませんでした。1・2・3年生がともに活動する縦割り班活動の中で、生徒個々の体力・精神力、表現力、そして自己管理能力に他者に対する思いやりが高まってきており、端から見ても4月当初と比べて、ずいぶんとたくましくなったとうれしく思います。

この体育大会で輝北中の活気を感じてもらえたらよかったです。練習の中で、全体の動きを指示する応援団の姿があり、そしてその指示に従って動くとする生徒の意志があります。集団の演技に必要なのは、「そろえる」ということです。

「そろえる」簡単そうでとても難しいことです。ダンスなどもそうですね。出来ていたでしょうか。

2学期始業式で学年代表の生徒が、2学期に向けての目標や抱負を語りました。その中で体育大会・文化祭の成功させたいということが出てきました。成功させるためには、**本気で「成功させるんだ」と何事もまず自分のこととして捉え、自分ができていることを精一杯全力で実現させようと真剣に取り組む**ことが大切です。体育大会にせよ、文化祭にせよ、成功するために本気で真剣に頑張らなければいけません。進路先へ合格したいなら、今からでも「実現させるぞ」と本気で真剣に取り組めば、なんとかなるかもしれない。とにかくあきらめないことです。夏休みに頑張れなかった人も、ここからが勝負です。ここからの助走のスピードが大切です。高く飛ぶためには、より早く助走を走る必要があります。

鹿児島の方言に「若けとっ苦勞は乞うてでんせえ(若いときの苦勞はお願いしてでもしなさい)」というものがあります。だから皆さんには、何か頼まれたら、「はい喜んで!」と進んで何事にも取り組んでほしい、とお願いしているのです。

皆さん「今」の一瞬一瞬を大切に過ごしてほしい。それは、1秒1秒に全力を注いで過ごしてほしいということです。「宿題をしていない」「みんなより遅れているのではないか」・・・皆さんの時代は、悩みもつきものです。そんな悩みは、長い人生からすると本当にちっぽけなものです。困ったときは、必ず「3人の大人」に相談してください。必ず、突破口が見つかるはずですよ。

中学生である君たちにとって、大人になる準備期間である「今」をしっかり過ごすことが大切なのです。この「今」を大切にしていくと「あなたのミライ」が変わります。

保護者の皆さま、どうか2学期も本校の教育活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。あわせて28日の愛校作業にたくさん御参加いただき、誠にありがとうございました。

体育大会の結果

1年男子100m走 小路口悠希 1年女子100m走 持永佳穂
 2年男子100m走 増田青士郎 2年女子100m走 吉水希杜菜
 3年男子100m走 小路口光希 3年女子100m走 内野々未来
 1年男子1500m走1位 立元雄大 1年女子800m走1位 新藏七奈
 2年男子1500m走1位 大窪拓馬 2年女子800m走1位 吉水希杜菜
 3年男子1500m走1位 園田絢人 3年女子800m走1位 新藏優奈
 紅青対抗選抜男女混合リレー 紅A 1位
 長縄エイトマン 1位 1学年(236回) 大縄飛び 青(24回)

体育大会への御参加，誠にありがとうございました。

結果は次のとおりです。

優勝 青組



天気は，晴れて，大変暑い中でしたが，午前中とはいえ，テーマの「全力全開～100%を超えた自分で～」のとおり全力を全開にして，顔を真っ赤にしながら，頑張っている生徒みんなの姿がそこにありました。



いじめ問題を考える週間

9月5日(月)から9日(金)までいじめ問題について考える取組をしました。全校朝会では校長講話で，各教科の授業の中でもいじめの話に触れ，そして道徳の授業で，仲間づくりや思いやりというテーマで話し合いました。

いじめ問題は，「対岸の火事」ではありません。自分のこととして考えられることが大切です。

「己の欲せざるところ，人に施すなかれ(自分がされて嫌なことを人にしてはいけません) by 孔子」

読書活動

第7号で1学期の学校評価を載せました。その中で，一番評価が低かったのが，親子での読書でした。

今までもでしたが，今年は特に毎月23日は親子読書の日として，取組を強くお願いしています。入試問題等を見てわかるように，どの教科の問題も問題文の文章がとても長くなっています。文章を読み取る力が試されているのです。ICTばかり使用していると，反射的な行動ばかりが優先され，文章をじっくり読むなどじっくり取り組むことができなくなっているという実験結果があります。毎月23日，一緒に本を読んだり，本屋に行って本を選んで買ったり，図書館で本を借りたり，子供と一緒に本を読む機会をぜひ作ってください。来月は読書月間です。

10月の主な行事予定

3日(月) 体格測定③ 合同訪問(午前)
 7日(金) 第1回スクールゾーン委員会
 11日(火)～13日(木) 地区新人総体監督会
 12日(水) 生徒会立ち合い演説会・選挙
 17日(月)～18日(火) 3年生実力テスト
 17日(月)～19日(水) 肝属地区新人総合体育大会
 24日(月)～26日(水) 2年生修学旅行

※15日(土) 青少年育成の日 16日(日) 家庭の日

9月24～30日は結核予防週間です

11月の主な行事予定

1日(火)～7日(月) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間
 1日(火)～7日(月) 自由参観週間
 3日(水) 文化の日
 12日(土) 第12回文化祭
 15日(火) 3年保育実習
 16日(水) 3年PTA
 17日(木)18日(金)21日(月) 教育相談
 18日(金)～24日(木) 部活動中止・ノーメディア週間
 22日(火)～25日(金) 期末テスト
 23日(水) 勤労感謝の日
 25日(木) 避難訓練
 30日(水) 生徒会引継式
 ※ 19日(土) 青少年育成の日 20日(日) 家庭の日